

の社の
町神
川柱
市十

巨大ヒヨコを奉納

老人会有志 稲わらで手作り

来年の干支「酉」にちなみ、稲わらでできた巨大なヒヨコ2羽が

初日、市川町上瀬加の十柱神社に奉納された。地元の上瀬加老人会有志の力作で、こころなげの愛らしい表情が通り掛かった住民らの目を楽しませている。

初詣にやってくる参拝客に楽しんでもらおうと、同老人会が毎年、鳥居前に飾っている。今年で7年目を迎える。

ヒヨコは高さ約2・5メートル。同会の野中峻さん(73)が写真などを参考に、デザインを考案した。かわいらしさを表現するため、ニフトリではなくあえてヒヨコを選んだ。

9月から制作に着手。スニヤ板や竹でヒヨコの骨組みを作った

後、地元で収穫した古代米の稲わらで体を造った。

この日の設置作業にはメンバー13人が参加。かえったばかりのヒヨコという設定で、稲わら製の卵を配すことわりよう。周囲を

ナンテンや華ボタンで華やかに飾り付けた。拝殿にはしめ縄も奉納した。

野中さんは「わらが羽毛に見えるように工夫した。ヒヨコの表情を楽しんでも」と話している。(三宅晃廣)



表情がかわいいう稲わら製のヒヨコ。市川町上瀬加